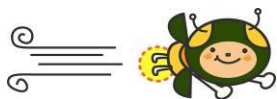


国崎クリーンセンター啓発施設指定管理業務 業務の実施状況及び見学者の状況

(令和7年度 概要版)

目 次

1.	事業運営の状況	1
2.	運営事業の実施状況	2
	(ア) 学ぶ・知る機会の提供	
	(イ) 地域と連携	
	(ウ) 広める活動	
	(エ) その他	
3.	事業運営体制	7
	(ア) 運営体制	
	(イ) 職員のスキルアップ	
4.	見学・貸館状況	8
	(ア) 見学・出前での利用状況	
	(イ) 各室別利用状況(催事・有料・減免利用含む)	
5.	17年間の人数・売上の推移	9
6.	収支状況	10



1. 事業運営の状況

国崎クリーンセンター啓発施設ゆめほたるでは、令和7（2025）年度もごみの適正排出を呼び掛ける啓発を継続し、積極的に活動をしました。

折しも大阪・関西万博が開催された年でした。これに合わせ、ゆめほたるでは「大阪・関西万博のごみのゆくえ展」（6月～10月）を開催しました。日本国際博覧会協会から資料の提供を受けながらゆめほたるで独自にパネルを作り上げた展示でした。また、万博関連以外にも創意工夫を加えた多数の展示物を自主制作しました。発火したリチウムイオン充電電池の現物を使った啓発展示や、実物を配置した「分別しよう これは何ごみ？」展、食品ロス削減月間（10月）にちなんだパネル展などです。新たに玄関前に設置したゆめほたるへの誘導案内看板は、廃棄物を再生利用したゆめほたるならではのものでした。発火したリチウムイオン充電電池の現物展示は、関係者の高い関心を呼び、（一社）廃棄物処理施設技術管理協会の季刊「環境技術会誌」1月号でも紹介されました。

展示とともに、近隣施設、各種団体との連携を強めた1年でもありました。豊中市伊丹市クリーンランド（大阪府）や、京都市南部クリーンセンター環境学習施設さすてな京都とはイベントを交換実施する態勢が定着しました。川西市北部を中心とした北摂地区の環境保全団体の会合を、令和7年度中に4回開催することができました。ゆめほたるの里山保全ボランティア「ゆめほたる里山クラブ」が旗振り役となって実現した会合です。この会合をきっかけに兵庫県立大学などの学術調査に協力することになり、社会的価値を高めることにつながりました。

猪名川上流広域ごみ処理施設組合が令和6年度に全国の地方公共団体で初めて導入した「メカニカルリサイクル」と「ケミカルリサイクル」を組み合わせた「ボトル to ボトル」の手法に関しては、組合と飲料メーカー、それにゆめほたるとが協力し、積極的に啓発・広報活動を展開しました。その経緯は「月刊廃棄物」の5月号で詳しく掲載され、各方面から高い評価をいただきました。令和7年度も兵庫県立川西明峰高校での「ボトル to ボトル」の出張授業や、関連イベント「ふろしきにお絵かき」を行ったところです。引き続き関連の啓発を令和8年度に実施いたします。

年間のご利用人数は2万1274人で、前年度実績（2万1688人）を414人、目標の2万2000人を726人それぞれ下回る結果となりました。少子化、人口減の影響や、夏場の猛暑による多目的広場の利用減が要因として考えられます。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で1万3551人となった令和2年度に底を打ってからは回復傾向が続いています。令和5年度から3年連続で2万人を突破したことを光明ととらえ、展示や各施設・団体との連携同様、新たな取り組みを続けて参ります。

2. 運営事業の実施状況

(ア) 学ぶ・知る機会の提供

地球レベルでの観点から、自分を取り巻く生活レベルでの近接的な観点まで、人間の活動と地球環境の変化のかかわり、自らのライフスタイルと自分の住んでいる地域とのかかわり、そして地域の人と自然とのかかわりを学んでもらう機会や場を提供しています。

団体見学対応・調整

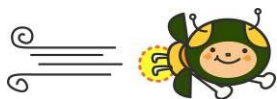
施設見学を通して、処理の大変さや一人ひとりの心がけがどのように影響するのかを感じてもらい、持続可能なライフスタイルへ向けた具体的な行動について一緒に考えました。令和7年度の一市三町小学4年生の団体見学は、25校 1,576名でした。



企画展示

ロビーや見学通路、出前展示などを通してごみ分別や地球温暖化問題、食品ロス削減啓発、里山の魅力発信など多角的な視点で、環境について考えてもらえるよう啓発に努めています。構成市町内関係部署との連携展示や環境学習の成果物展示など教育委員会と連携する取り組みも継続しています。

開催期間	展示タイトル
3月15日～4月20日	国定雄一写真展『里山の桜 北摂の桜』
6月12日～6月26日	「住まいと暮らして温暖化防止」パネル展(川西市環境政策課連携① 於: 川西市プラザ)
6月12日～6月26日	「環境イラストコンテスト」入賞作品展(川西市環境政策課連携② 於: 川西市役所)
6月12日～10月13日	大阪・関西万博「ぼんぱくのごみのゆくえ」展(川西市環境政策課連携③)
7月27日～8月31日	環境イラストコンテスト2025 作品展
8月1日～9月24日	ゆめほたる里山クラブ活動紹介ポスター(黒川里山センター)
9月17日～9月18日	第36回「廃棄物資源循環学会」研究発表会ポスターセッション「中部地方の環境学習施設の“現在地”」
9月10日～9月23日	流木ペインティング作品展 (一庫ダム連携)
7月19日～9月7日	国定雄一写真展『縦横に躍動する小動物/森を静かに彩る山野草/自由に飛びまわる野鳥』
10月4日	おおさかのてっぺんフェスティバル(能勢町)でのリチウムイオン電池啓発ポスターの展示
10月15日～3月31日	食品ロス啓発パネル
12月10日～常設	廃棄椅子のアップサイクル『NEST CHAIR』
12月16日～2月11日	能勢ささゆり学園4年生の作品展示「ゲコペット」
1月16日～1月29日	環境イラストコンテストの歴代入賞作品展(豊能町立図書館 The ギャラリー)
2月15日	能勢ささゆり学園4年生作 ゲコペット展示(SDGsを楽しく学ぼう! 阪神北SDGsフェス)



講演会 講師を招いて、講演会形式で環境に関心のある人や活動を考えている人たちへの情報発信と、必要な情報を入手できるような場を提供しました。

- ① 4月27日 環境劇(里山の生物多様性) メダカのコタロー劇団
- ② 8月13日 天体観望会 和田浩一氏(星のソムリエ京都 副理事長)
- ③ 10月4日 木を切って、森を育てる 石田 弘明氏(兵庫県立大学教授)
- ④ 10月18日 安全講習・森林整備について 山本 博氏(NPO 法人 日本森林ボランティア協会理事)
- ⑤ 11月1日 救命救急 川西市北消防署
- ⑥ 11月15日 減災・防災の森づくり 山瀬 敬太郎氏(兵庫県立大学教授)
- ⑦ 11月29日 野生動物被害防除 高柳 敦氏(元京都大学准教授)
- ⑧ 11月29日 天体観望会 畑田尚起氏(猪名川天文台運営委員会会長)
- ⑨ 12月13日 日本茜を使ったアカネ染め 杉本一郎氏(一般社団法人日本アカネ再生機構)
- ⑩ 12月20日 生物多様性について 橋本 佳延氏(兵庫県立人と自然の博物館主任研究員)
- ⑪ 12月20日 森林資源の利活用について 山崎 正夫氏(SHARE WOODS 代表)
- ⑫ 1月10-11日 自然の恵みを暮らしの中に 松岡大輔・茉莉花氏(けせら暮らし&工房主宰)
- ⑬ 3月28日 ジビエ料理 新田 哲也氏(ジビエ食肉処理施設代表)

ゆめほたる講師による講座

一市三町に在住または勤務されている方を中心に、本啓発施設で行われるリサイクル系のワークショップ教室で指導いただく講師を募集・登録し、多くの講師に活躍いただいています。講師登録者 44名(令和8年3月末時点・更新含む)

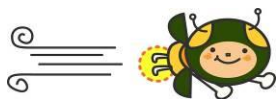
	回数	参加人数	内容
里山木工教室	54	122	里山間伐材・廃材・廃家具活用でアップサイクル。
椅子の張替え教室	20	44	実習によるスキルアップと物を大切にする暮らし方の啓発。アップサイクル。
レザーリメイク	60	367	不用レザー製品から必要な物へアップサイクル。
和布リメイク	21	84	不用な着物や和布を傘や服にアップサイクル。
廃ガラスで遊ぼう、トンボ玉	21	68	廃ビンをランプや小物にアップサイクル。
エコクッキング	2	14	余熱調理で省エネになる鍋帽子を使った調理実習と鍋帽子作り。
天体観望会・自然観察会	8	251	身近な自然環境に関心を持っていただき、自然との共生を促進していく。地域団体との連携講座。
親子分解ワークショップ	5	46	親子で小型家電を分解し素材ごとに分別する。分別体験により、様々な部品から作られていることを知り、分別啓発を行う。
里山フラワーアレンジメント	12	269	季節の花で環境意識の醸成。
里山ヨガ	17	313	里山を眺めながらのヨガで環境意識の醸成。
カホンレッスン会	10	62	地域内の音楽家や団体とカホンの演奏を楽しむ。地域イベント等での発表会も。
さとやまプログラミングクラブ	10	81	micro:bit プログラミングや回路について学ぶ。
つまみ細工	64	406	古布から花などの小さな飾りや小物を制作するアップサイクル講座。
クラフトバンド	11	72	再生紙でできたエコな素材で身の回りの小物を作る。
断捨離講座	9	46	すっきりシンプルライフを目指す。
終活セミナー	1	6	終活をしながら、心とモノの整理を目指す。リユースの促進。
親子科学実験教室	1	6	身の回りの不思議を推理して実験して検証する。
親子はんだ付けワークショップ	2	11	電子工作の基礎を体験しながら、ものづくりの楽しさと安全な工具の扱い方を学ぶワークショップ
ヒンメリ作り	1	11	麦わらで作る光のモビール。地域の自然を楽しむ。
金継ぎワークショップ	2	12	欠けた器を修復するアップサイクル講座。壊れたものを大切に使い続ける循環型の暮らしについて理解を深める。
凧づくり・凧あげ	2	70	自然エネルギーを利用する伝統遊びを楽しむ。
エコ布ぞうり	1	8	着古したTシャツからぞうりを作るアップサイクル講座。
アクセサリ作り	1	12	廃材でアクセサリ作りを楽しむアップサイクル講座。
	335 件	2,381 人	

【変更や中止となった事業】

- マシンガンズ滝沢秀一さんごみ収集を考えるトークショー:講師都合により
- ヴィッセル神戸のサッカー教室:先方の事情により
- ライディングスクール:先方の事情により

(イ)地域と連携

	開催日 2025	連携先	内容
1	4月26日	豊能町祥雲館	ごみ減量講座
2	5月17日,18日	猪名川流域ひめぼたるネットワーク	ひめぼたるういーく
3	5月19日	豊能町東ときわ台地区福祉委員会	ごみ減量講座
4	5月27日,6月3日 6月10日,6月17日	川西明峰高等学校	明峰の学び
5	6月3日、9月7日	アサヒユアス株式会社	明峰の学び、ふろしきにお絵描き
6	6月2日～6月6日	川西市教育委員会	トライやるウィーク(明峰中学校2名)
7	6月12日～6月26日 6月12日～10月13日	川西市環境政策課	環境月間展示「ゆめぼたる環境イラストコンテスト入賞作品展」「住まいと暮らして温暖化防止」「万博のごみのゆくえ」展
8	7月9日	豊能町吉川・ときわ台地区福祉委員会	ごみ減量講座
9	7月20日 11月30日	コラッジョ川西サイクリングチーム	第16回・第17回北摂里山スプリントヒルクライム大会
10	7月26日	川西市環境政策課	川西市環境フェスタ出展
11	7月29日	さすてな京都	昆虫教室
12	8月13日	星のソムリエ京都	天体観望会 in くにさき ～ペルセウス座流星群を観察～
13	8月15日	さすてな京都	親子で分解ワークショップ
14	8月23日,12月20日 3月7日	兵庫県電機商業組合川西支部	親子分解ワークショップ
15	8月24日 9月10日～9月23日	一庫ダム	流木ペインティング大会&クリーンアップ活動、流木ペインティング作品展
16	9月17日～9月18日	廃棄物資源循環学会	ポスターセッション
17	9月21日	黒川里山センター	黒川里山マルシェ
18	9月30日～10月3日	猪名川町教育委員会	トライやるウィーク(猪名川中学校3名)
19	10月4日	能勢町、能勢産経グループ なごみ苑	おおさかのてっぺんフェスティバル出展
20	10月19日	能勢町久佐々地区福祉委員会	能勢みんなのつどい出展
21	10月31日	豊能町東能勢地区	ごみ減量講座
22	11月3日	猪名川町	いながわまつり出展
23	11月28日	兵庫県立大学、兵庫県森林動物研究センター、NPO 法人日本森林ボランティア協会	里山保全委員会
24	11月29日	猪名川天文台運営委員会	天体観望会 in くにさき 2025 winter
25	12月5日	大阪産業大学	出前 分解ワークショップ
26	12月16日～2月11日	能勢ささゆり学園	4年生環境学習成果物展示「ゲコ PET」
27	2月15日	阪神北県民局	SDGsを楽しく学ぼう！阪神北SDGsフェス
28	1月16日～1月29日	豊能町立図書館 The ギャラリー	環境イラストコンテストの歴代入賞作品展
29	3月1日	NPO法人 豊中・伊丹環境政策フォーラム	食器リユース市



(ウ)広める活動

エコ講座の様子、里山保全活動について情報発信を継続しています。フリーマーケット実施によるリユース活動の促進及び出前や連携による具体的な行動について啓発しました。

ブログでの情報発信



フリーマーケット(館内:9月・12月・3月 / 屋外:4月)

駐車場や館内でフリーマーケットを実施し、モノを大事にする住民の交流の場を提供しています。4月の外フリマは24ブース、9月12月3月はそれぞれ59ブースずつの出店がありました。山下駅から無料シャトルバスを運行し、利便性に配慮しています。リユース家具抽選会や子ども向けのジャンケン大会は継続しつつ、食器リユース市やPETボトルリサイクルのふろしきにお絵描きなど各種団体と連携したコンテンツを組み込み、利用者サービスに努めています。



広報の実施状況

① 新聞・情報誌・net への広報

地域情報誌	新聞	会員誌	ウェブサイト	メディアへの 資料提供	TV・ラジオ	雑誌	総数
5	5	1	9	110	2	1	133

② ブログ、メールニュース、Instagram

R7 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	小計
ブログ	8	9	4	9	7	9	11	6	8	10	5	6	92
メールニュース	1	3	0	2	3	0	0	2	0	1	1	1	14
Instagram	4	1	3	4	5	1	4	3	2	5	4	9	45

(月別の情報発信数)

(エ)その他

① サイクルフェスタ

健康増進とエコを同時にかなえる自転車の大会を実施する団体への協力を行っている。地域のサイクリングチーム『コラッジョ川西サイクリングチーム』と「第 16、第 17 回ひょうご北摂里山スプリントヒルクライム大会」(7 月、11 月)を共催。

② 地域貢献をめざす「環境情報センター」の活動について

地域に貢献する環境教育や環境学習についての研究を行う組織として啓発研究組織「環境情報センター」の活動を継続しています。「持続可能な社会形成」という本施設の目標に向けた道標と位置付け、ゆめほたるの啓発活動に関わる人々の知恵や経験を集成し、今後の啓発活動に役立つ成果を探索しています。

6 月川西市役所、キセラ川西 環境月間連携展示／トライやるウィーク受け入れ(川西市教育委員会)／兵庫県立川西明峰高校「明峰の学び」／ 7 月川西市環境フェスタ出展／9 月廃棄物資源循環学会出展(ポスターセッション)／10 月トライやるウィーク受け入れ(猪名川町教育委員会)／11 月里山保全委員会／12 月大阪産業大学連携(分解ワークショップ)／ 1 月「廃棄物資源循環学会・環境学習施設研究部会」秋の視察研修会

③ クラブ活動支援

各工房での地域住民のクラブ活動および国崎クリーンセンター内里山林保全活動をサポートしています。ゆめほたる里山クラブ、里山クラブ木工班、トンボ玉クラブ、さとやまプログラミングクラブ、ゆめほたカホーンズ、里山わんだふるくらぶ、Bicycle Project などのクラブがあります。

④ フードドライブ

令和 7 年度に地域の方からご寄付いただいた食糧品は 9 件 13.8kg でした。
地域のこども食堂や社会福祉協議会へ寄付しました。

⑤ 里山林維持管理事業の協力

国崎クリーンセンター敷地内里山林の保全活動を行っています。活動はゆめほたる里山学校(里山保全技術者養成講座)修了生(ゆめほたる里山クラブ)と啓発施設が NPO 法人日本森林ボランティア協会の協力のもと行っています。

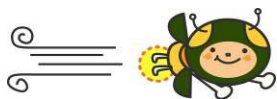
保全はハード面の森林整備と、ソフト面の環境学習の場の提供をあわせて行っています。

当敷地の里山林の大きな特徴である、里山利用の形跡とその後の放置林化での問題点の両方があることと、エドヒガン群落、坑道群の 2 つの文化財が存在することを通して、利用者に環境啓発できるように保全活動で森林整備と併せて知識の研鑽も行っています。

- 活動期間：4 月～3 月
- 活動場所：自然学習ゾーン
- 定例活動：シカ柵点検・補修、スズメバチトラップ設置及び点検回収、危険木対策、危険木点検・マーキング、倒木処置、枯損木伐倒処置、下草刈り、支障枝除去、ミツマタ植栽地周辺整備(除草)、外来雑草抜き取り、間伐材の玉切り搬出、落葉清掃、エドヒガン公開地周辺整備

■ 定例活動以外の活動内容

1. **ゆめほたる里山学校開催**：里山整備と里山資源利活用について体系的に学べる「ゆめほたる里山学校」を開催しました。
2. **中学校トライやるウィークの指導**：川西市、猪名川町 2 校に環境体験学習を実施しました。
3. **小学校体験学習の指導**

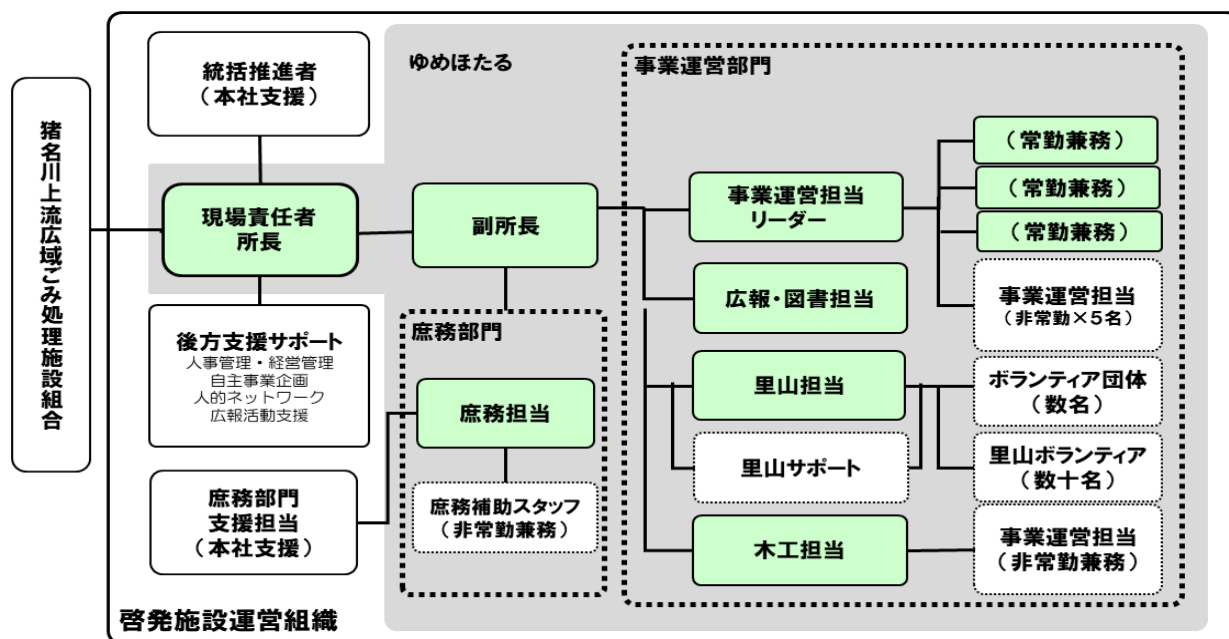


川西市立小学校 2 校に、“里山探索”と“ノコギリ体験”の体験学習を実施しました。指導には里山保全のボランティアと啓発施設があたり、“自然学習ゾーン”などで実施しました。展示用の棒炭は「菊炭友の会」様にご提供いただきました。

4. **催事の開催：**里山林の利活用として自然学習ゾーンとエドヒガン南の森で一般参加者を対象とした催事を開催しました。
5. **川西市環境フェスタ出展：**ポスター展示と環境ゲームで出展しました。
6. **その他：【Snap Shot Hyogo に協力】**
自動撮影カメラによるネットワーク型動物調査兵庫県版「Snapshot Hyogo」に川西市北部地域自然保護団体と連携を取りながら調査協力しました。

3. 事業運営体制

(ア) 運営体制



(イ) 職員のスキルアップ

各種環境系の検定等を受験し、知識向上へ向けた努力を継続しています。

【環境系 検定等合格者一覧】

職員の資格・認定の取得状況（令和7年度末現在）			
資格	保有人数	*エネルギー・環境マネジャーキャリア段位制度	保有人数
エコ検定	6	レベル1	1
3R・低炭素社会検定	6	レベル3	3
環境カウンセラー	2	レベル4	1
環境社会保全士	1		
うちエコ診断士	1		

*エネルギー・環境マネジャーキャリア段位制度とは

一般社団法人産業環境管理協会が実施する実践キャリア・アップ戦略（平成 22 年 6 月 18 日に閣議決定された国家プロジェクトの一つで新たな成長分野における人材育成と当該分野への労働移動を促すことを目的として、「キャリア」や「能力」で評価される社会を目指す）に基づき、職業能力・生涯キャリアを認定する制度。エネルギー・環境それぞれの関連分野での求められる能力を知識と実践的スキルについて、特に実践的スキルを重点に評価し、キャリア段位（レベル）を認定している。

キャリア段位と呼称

- レベル1 : エネルギー・環境アシスタントマネジャー
 レベル2 : エネルギー・環境マネジャー
 レベル3 : エネルギー・環境シニアマネジャー
 レベル4 : エネルギー・環境エキスパート

4. 見学・貸館状況

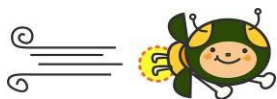
(ア) 見学・出前での利用状況

月	総利用者数	見学 出前	各室 利用	備考
4月	1,155	244	911	団体・一般見学、各種講座、催事、地域出前
5月	1,794	804	990	団体・一般見学、各種講座、地域出前、多目的広場利用
6月	2,583	1,162	1,421	団体・一般見学、各種講座、催事、多目的広場利用、連携展示、地域出前
7月	1,976	626	1,350	団体・一般見学、各種講座、多目的広場利用、地域出前
8月	1,369	491	878	団体・一般見学、各種講座、多目的広場利用、地域出前
9月	2,436	848	1,588	団体・一般見学、各種講座、催事、多目的広場利用、連携展示、地域出前
10月	1,680	885	795	団体・一般見学、各種講座、多目的広場利用、連携展示、地域出前
11月	2,656	762	1,894	団体・一般見学、各種講座、多目的広場利用、地域出前
12月	2,617	989	1,628	団体・一般見学、各種講座、催事、多目的広場利用
1月	471	117	354	団体・一般見学、各種講座、連携展示
2月	903	503	400	団体・一般見学、各種講座、地域出前
3月	1,634	711	923	団体・一般見学、各種講座、催事
令和7年度	21,274	8,142	13,132	(単位:人)
令和6年度	21,688	8,918	12,770	

(イ) 各室別利用状況(催事・有料・減免利用含む)

施設名称	利用回数	利用者数	おもな利用
	(件数)	(人)	
研修室	117	4,422	団体見学、各種講座、講演会、里山学校
軽作業室	104	937	講座、ワークショップ、クラブ活動等
制作工房	47	668	講座、ワークショップ、クラブ活動等
修理工房	214	1,112	講座、ワークショップ、クラブ活動等
講座室	22	222	川西市出前講座、クラブ活動、講師控室
視聴覚室	4	54	会議使用、講師控室、貸室
会議室	0	0	リユース家具
多目的広場	85	7,314	催事、スポーツ利用
合 計	593	14,729	

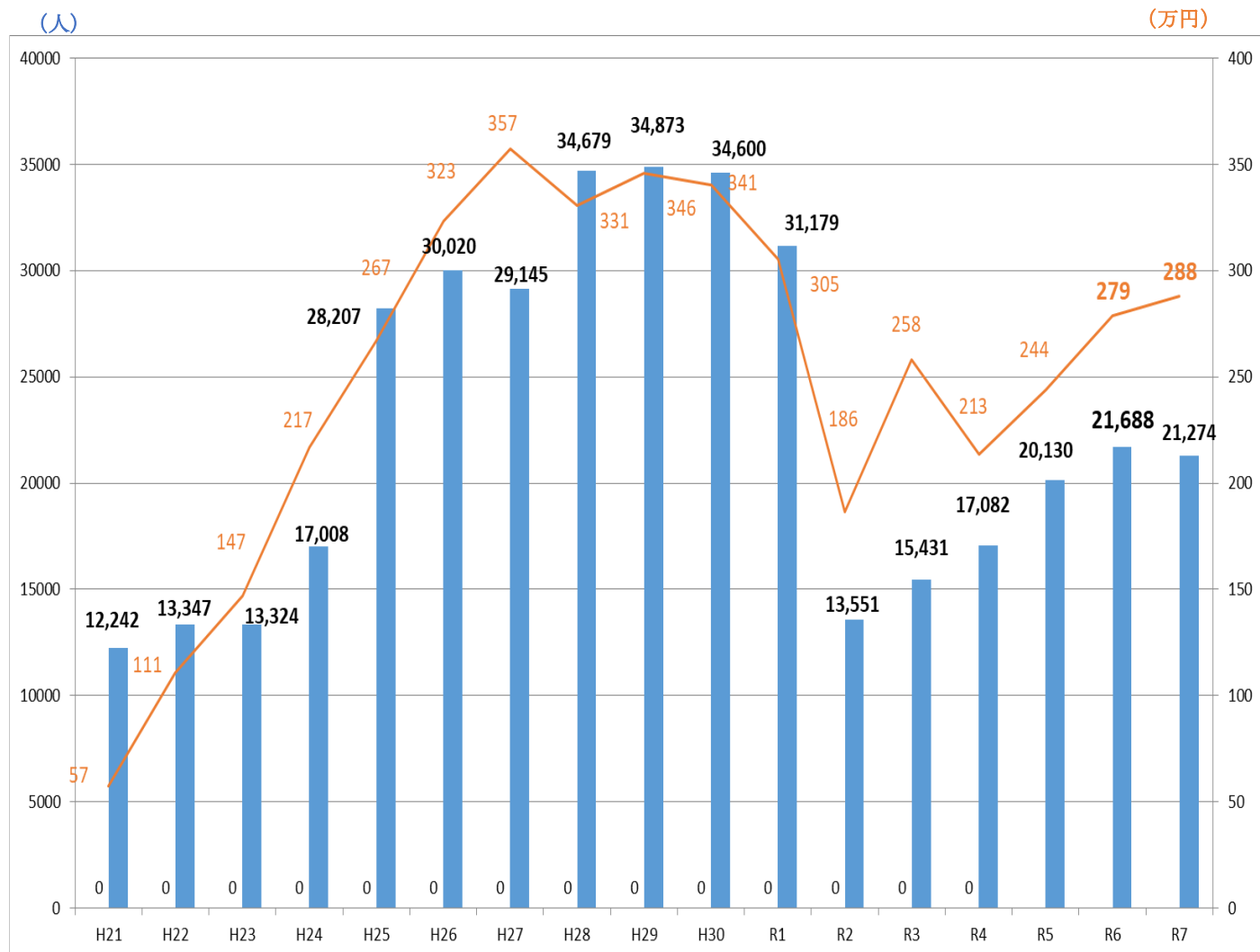
*一団体が同日に複数の施設を利用した場合は、施設毎に回数と人数を計上しています。



5. 17年間の人数・売上の推移

折れ線：売上推移（万円）

棒：利用人数推移（人）



※R4年度からは、スタッフを配置していない出前展示の利用人数（観覧者数）は計上していません。

6. 収支状況

国崎クリーンセンター啓発施設運営指定管理事業の実施に係わる収支状況（令和7年度）			
収 入(円)		支 出(円)	
項 目	金 額	項 目	金 額
指定管理料	66,313,552	人件費	41,212,084
講座・講演会参加費等	2,285,400	事務費	2,252,580
雑収入	595,015	物件費	1,873,881
		管理費	3,910,600
		事業関連費	7,887,439
		一般管理費	5,767,022
		中計（支出総合計）	62,903,606
		消費税	6,290,361
合 計	69,193,967	合 計	69,193,967